

教員名(Name) : 鬼頭 延寧 (Nobuyasu Kito)

***ゼミタイトル Seminar Title**

英語の不思議を歴史で解き明かそう！

***授業概要 Outline of the contents**

(テーマ：英語史)

英語という言葉を通時態における言語として単に考察した場合、おそらく諸君の心に残るものは少ないであろう。従って、この授業では現在諸君が当たり前のように覚えたり、認識していること、身近な例では、wife の複数形は wives。しかし通常の複数形は、-s を付ければよい。では、どうして wife の複数形は wifes ではないのか。また、通常過去・過去分詞は語尾に-ed を付ければよい。しかし、go は go-went-gone と変化し、go と gone は似ていても go と went はまったく異質のように感じられる。何故なんだろう。このように、現在当たり前のように認識している様々な事象を歴史的観点からその謎を解明していく。学生諸君にも謎解きの名人であるシャーロック・ホームズになってもらい、名推理を期待する。

***授業の形式 How the class is conducted**

1 回	オリエンテーション
2 回	英語の現在と将来
3 回	インド・ヨーロッパ語族
4 回～5 回	古英語
6 回～7 回	古英語に対する外国語の影響
8 回	ノルマン人のイギリス征服と英語の屈服
9 回	英語の復権
10 回～11 回	中英語
12 回	ルネッサンス
13 回	権威への訴え
14 回	19 世紀およびそれ以降
15 回	定期試験

***課題・成績評価基準 Requirements and Assessment**

出席、口頭発表、レポートによる総合評価

***その他 Others**

プリント